

Vector Works 私流使い方 小野 稔

1) 3Dが地球にくっついた

すっきりとしたウェブサイトでは有名なグーグル社のグーグルアース(※1)というソフトウェアとベクターワークスの連携ができることが判明した。同ソフトウェアは無料でダウンロードできます。 <http://earth.google.co.jp/>

VectorWorks上で作成した(※2)のような3Dを地球のある地点にピンポイントでくっつけることができる。

VectorWorks上で取り出す拡張子KML(3D)をクリックする。Aの部分Nの35°41'15.15" Eの139°45'19.64"と入力しますと、実は皇居の庭になります。どこでも良かったのですが広いので、仮にここに置くことにします。

Cの部分はすべての図形を取り出すことにします。Bの部分は、今現に開いているレイヤを取り出すことにします。

Okを押しますと、ファイルが1つできます。保存先を予めどこかに決めておきます。それをダブルクリックしますとグーグルアースが起動します。

(グーグルアースがインストールされていることが前提です。)

起動しますと、遠景。近景。自由に回転もできます。どのシーンもイメージとして保存できます。

利用法の一例として弊社のHPでは※8のように立体として案内地図を使っています。グーグルアースをバージョンアップすればもっと鮮明な画像が得られるそうですが、これで十分だと思います。

国土地理院の地形図でもいろいろと遊べます。(仕事できます) . . .

II) ホームページ? 創れたよ

またまた横道にそれますが、 . . .

ホームページ作成費用が、零細企業で、20

万から60万はやっぱり痛い。しかも毎月の維持費が必要らしい。後方支援としてはホームページは、やっぱり必要だろうと思います。後方支援という意味は、大して営業として役に立たないけれど、何か問い合わせがあったときとか、どんなことしているのか説明するときとか、どんなもの創っているのと説明するときとか、拙いHPでもないよりはましだろう。という意味で。

AdobeのGolive cs2 (28,000円)というソフトできわめて基本的な機能で創りました。何もわからないところから始めるのだから教本を一冊買いました。グリッドに文字とイメージをを並べるだけです。それにリンクを張る作業だけです。

ただ根気は必要です。単純作業を繰り返すのですから。

自身で作るといふことの大事さは、必要なときに必要な情報がタイムリーに発信できたり、維持費を払って他人にお願いするとそこでまた食い違いが起こることもあります。

最後にロボット型検索エンジン対策として住まいづくりの会の仲間から教えてもらったのが

```
<meta http-equiv="content-type"
content="text/html; charset=utf-8"><meta
name="keywords"
content="小野建設、小野建設一級建築
設計事務所、小野稔、周南市大工、山口
県周南市建設会社">
```

```
<meta name="description"
content="(株)小野建設の代表取締役小野
稔は、山口県周南市米光出身で、自らも
大工の経験を持ち、建築士でもあり痒い
ところに手が届くサービスが評判です。">
```

```
<title>自然の風合いを生かした設計と
施工のできる住宅会社</title>
```

```
<style type="text/css"
media="screen"><!--
```

というようなkeywordsを挿入すると言うものだった。何か良くわからない単語の羅列を試してみた

